教育学研究科学校教育実践高度化専攻（教職大学院）

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

＜教育学研究科の教育目標＞

教育学研究科では以下の内容を教育目標としている。すなわち、高度の専門的知識・技能を背景に、優れた指導力を有する高度専門職業人の養成を図るとともに、教科や学問分野に細分化されたコース、専修を融合し、より広範囲な単位である学修コースを設置することによって、地域の現実の課題に即した総合的な講義や研究方法の指導が可能になり、視野の広い教員等の人材を養成することを目指している。

また、各教科内容領域や教育・心理等の基礎的な分野において、学生が個々の関心に基づく研究、研鑽を行い、教員等各分野の専門家としての力量を向上させる。

＜入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）＞

１．求める人材像

教育学研究科学校教育実践高度化専攻では、次のような人材の入学を期待しています。

・学士としての確かな基礎学力と教職における基本的な知識・技能を有し、教育職員一種免許状を有している人、または取得見込みの人

・教師としての明確な問題意識・関心を持ち、幅広い教養と柔軟な思考力を持つ人

・教職実践力を高める上で必要な、「コミュニケーション力」「指導力」「協働力」を有している人

２．入学前に身につけておいて欲しいこと

・学士レベルの基礎学力と教職における基本的な知識や技能

・教職や学校現場の諸問題に関心を持ち、多様な観点から考えられる力

・様々な他者とコミュニケーションをしたり、協働したりできる力

３．入学者選抜の基本方針

入学者選抜に際しては、求める人材像のうち、学士としての確かな基礎学力と教職における基本的な知識・技能、及び 教師としての明確な問題意識・関心、幅広い教養と柔軟な思考力については、小論文及び口述試験により判定します。また、教職実践力を高める上で必要な、「コミュニケーション力」「指導力」「協働力」については、口述試験により判定します。